

「ふるさと枠」で育ち、 感じたこと

独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立安佐市民病院
初期臨床研修医 笹部 祥子

自己紹介

名前：笹部 祥子 平成4年1月10日 広島生まれ

広島市の公立小・中・高校を卒業

平成22年 広島大学医学部医学科
「ふるさと枠」推薦入試で入学

平成28年 広島大学医学部医学科 卒業
広島市立安佐市民病院 初期臨床研修医

地域枠推薦入試を受験した理由

広島県南部の島で暮らす祖母が、近くに医療機関が無い
ため健康に不安を抱えながら生活している姿を幼い頃から見てきた。

医師が少ない地域に住む方々の健康を守りたいと思い受験を決意。

大学生活 地域枠生として

▶昼セミナー 通称「ふるセミ」

他学年の地域枠生と定期的に交流が出来て心強かった

▶夏・冬セミナー

中山間地・島嶼部の病院や診療所を見学
自治医科大生との交流

▶オーストラリア研修

フリンダース大学訪問
現地の医学生と交流



学生時代の悩み 地域枠について

- ▶専門医の取得が遅れてしまうのでは
- ▶他県出身の人と結婚した場合
- ▶産休・育休中の義務年限の扱い

研修医生活

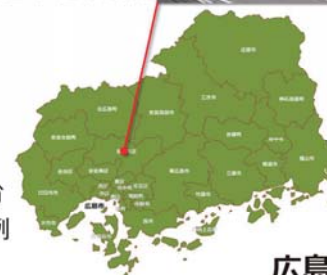


広島市立安佐市民病院



“北の砦”

- 病床数 527床
- 救急患者
1日当たり29.9名
- 救急車台数 4,186台
- 心肺停止症例 125例



広島県

初期臨床研修医



初期臨床研修医 18名 (含 地域枠推薦出身者3名)
 歯科初期臨床研修医 1名

2年間のローテーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	循環器内科	循環器内科	呼吸器内科	呼吸器内科	麻酔科	麻酔科	救急・総合診療科	救急・総合診療科	外科	外科	消化器内科
2年目	消化器内科	麻酔科	皮膚科	麻酔科	代謝・内分泌内科	放射線診断科	地域医療	救急・総合診療科	集中治療科	麻酔科	精神科	放射線診断科

研修の流れ 麻酔科研修+当直

7:30	出勤 出勤時間30秒 麻酔器起動、薬剤・挿管チューブ準備
7:45	カンファレンス 当直報告、緊急手術、問題症例の共有
8:45	患者入室 麻酔導入 マスク換気、挿管、Aline確保、硬膜外麻酔... 麻酔維持 一人ぼっちのこともしばしば...
11:30~12:00	昼休憩
17:00	手術終了
17:15~0:00	当直開始 救急車・ホットライン対応
0:00~8:30	救急車・ホットライン・ウォークイン対応

進路選択

- 研修医1年目の秋に麻酔科をローテート
- 挿管困難症例、術中大量出血、術中心停止など様々な「修羅場」を体験。それらを切り抜ける麻酔科医の知識・技量
- 「修羅場」に陥らないために危険を先回りして回避する「リスクマネジメント能力」に魅了
- 手術麻酔・集中治療・ペインクリニック・緩和ケアなどさまざまな分野があり一生をかけて働ける

➡ 麻酔科へ進むことを決意

新専門医制度との絡み

- 初期研修終了後4年以上、責任基幹施設・基幹研修施設・関連研修施設による病院群で形成したプログラムでの研修修了
 広島では・・・
 - ・責任基幹施設 広島大学病院
 - ・基幹研修施設 広島市近郊3病院
 - ・関連研修施設 県内8病院
- 以下の経験必要症例数が申請要件に追加
 - ・小児（6歳未満）の麻酔 25症例
 - ・帝王切開術の麻酔 10症例
 - ・心臓血管外科の麻酔 25症例（胸部大動脈手術を含む）
 - ・胸部外科手術の麻酔 25症例
 - ・脳神経外科手術の麻酔 25症例

専門研修の休止

2年を越えて研修プログラムを休止した場合は
 それまでの研修期間は認められません

日本麻酔科学会ホームページより抜粋

- 義務年限中に2年以上専門研修施設以外での就労をする場合、専門研修は振出しに戻る！？

<休止の特例>
 地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については、卒業後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし2年以上の休止を認めます。

日本麻酔科学会ホームページより抜粋

麻酔科医として地域医療に貢献するには

高齢化・担癌患者

麻酔

急性期医療

ペイン

集中治療

緩和ケア

救急医療

臨機応変に様々な現場で役に立てるジェネラリスト

ありがとうございました